



# 北見西ロータリークラブ会報

2022～2023年度クラブテーマ

## 《コミュニケーションとふりかえり》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)  
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)  
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)  
 ☎23-2251  
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分  
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 窪之内 覚 ■会長エレクト 齊藤伸一郎  
 ■副会長 西村 清一 ■幹事 佐藤 尊人



イマジン  
ロータリー

第2500地区ガバナーテーマ

「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」

第2415回例会

2022年9月15日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

夜間味覚例会

親睦活動委員会

第2414回 例会記録

2022/9/8

会長挨拶

窪之内会長



コロナの数が相変わらず多く、非常に心配しているのですが本日も大勢出席いただきまして、ありがとうございます。

先週イレギュラーな形での例会となりまして、ガバナーがお見えになりみなさまの絶大なご協力で西クラブを印象づけられたのでないのかと思っています。ありがとうございます。

本日のお話ですが、私どもの会社が時々新聞に『「有機」に商機、増産目指す』なんていうタイトルで載せていただきまして、どういう事だかみなさま分らなかつたかと思ひまして少しだけ話させていただきます。実は私どもの商品は液体の堆肥なんです。今肥料が非常に高騰して化学肥料が手に入らないという状況になってきておりまして国の方では堆肥を使うと補助をするという事になっています。ではなんで堆肥なんだということなんですけれども日本の農業というよりも世界の農業というのはずっと堆肥でやっていたのです。化学肥料というのは戦後からなるのですが私が子供の頃は畑のすみに少し化学肥料があって、よく効くということでものすごく使うようになり段々効かなくなってきた今ではもの凄いの量を使うのですが、その化学肥料が高騰してしまったので堆肥をもっと使った方がいいのではないかという事です。堆肥は土の中の微生物を増やす働きがあります。増えた微生物が肥料を分解して食物が吸い上げやすくする、窒素・リン酸・カリというのをみなさんよく聞くとお聞きしますが、このうち窒素とリン酸というのは植物は科学肥料から直接吸い上げられなく、微生物に分解してもらわないといけない化学肥料と使っているうちに土の中の微生物が減ってきてしまって肥料を与えても効かないという状況が近年では顕著になってきています。幸いなことに私どもの商品は液体堆肥なものですから、散布してやると微生物が増え、微生物が分解すると化学肥料を餌にして排泄物として出す、それを植物が吸い上げるという事で度々取り上げられています。なんとか頑張りたいと思っています。

今日は三垣監督宜しく願いいたします。

天気 (例会時) 最高気温 28℃



昼食

北海道産豚肉のカツ  
 コールスローサラダ  
 翡翠茄子と海老の枝豆館  
 ご飯 香の物 味噌汁  
 デザート コーヒー

■ニコニコボックス 目黒親睦活動委員

窪之内会長

会社のことが北海道新聞に掲載されました。化学肥料の高騰の折、牛の尿から製造した液体堆肥がもっと出るようにがんばります。

角田会員

良い事がありました。

松井会員

先月のサークルコンペで入会初めて優勝させていただきました。ありがとうございました！ニコニコ。

服部会員

これまでの事務所のとなりに新しい事務所を建て、昨日より使用を始めました。新しい事務所は気持ちがいいです。

宮本会員

今年初めてゴルフで100を切る事ができました。

小西会員

ポーッと生きてたら、アツという間に80年過ぎていました。チョコちゃんゴメンナサイ。

加藤会員

ちょっといい事がありました。

近江会員

先月の職場訪問移動例会では会員の皆様にはご協力いただき無事に終えることができました。ありがとうございました。

黒部会員

結婚・誕生祝ありがとうございます。

1) 9月ロータリーレートは、1 \$ 139円です。

委員会報告

人間尊重委員会 三浦委員長

赤い羽根共同募金運動における街頭募金についての依頼がきています。

北見地区では10月1日～10月7日までの一週間、コロナ禍における大変な状況下ではありますがご協力をみなさま宜しくお願いいたします。

基本的教育と識字率向上月間に因んで  
ゲスト卓話「チームの作り方」

東京農業大学北海道オホーツク野球部監督 三垣 勝巳 氏  
青少年奉仕委員会

プログラム



■ 9月の誕生日祝 市村親睦活動委員

加藤会員、小西会員、東海林会員、黒部会員



■ 9月の結婚祝 市村親睦活動委員

黒部会員、小林会員、榊原会員、平間会員、服部会員、大場会員、迫田会員、今川会員、海田会員



今井青少年奉仕委員長より挨拶、講師の東京農業大学北海道オホーツク野球部監督 三垣勝巳氏のご紹介の後、三垣氏より「チームの作り方」と題し卓話をしていただきました。

東京農業大学北海道オホーツク硬式野球部監督三垣と申します。この度は貴重なお時間をいただきありがとうございます。

今井さんとは私は1つ上の学年で大学時代一緒に切磋琢磨して日本一を目指してやっていた、私は野手中心で今井君はピッチャーという事で切磋琢磨した経験を今でも思い出すことがあります。

私の高校時代がPL学園という高校で野球をしていました。ちょっと詳しい方はわかると思いますが当時は、今で言う体罰に近い「身体で覚えろ」というが残っていたと思います。私は1980年生まれで松坂世代と言われる世代です。松坂世代と言われた当時高校3年生の夏の甲子園で横浜高校とPL学園が延長17回という試合をしまして私その時6番、ファーストで出場したのですが当時リーダーでやっていた子たちのそれから20年後を取材したド

キュメンタリーが作られてましてその時の映像がありますのでご覧ください。

延長17回を戦った後、選手がプロ野球ですか野球に携わる仕事、一般企業で働く仕事に就き、今も横浜高校の選手との交流もありますし、松坂選手も去年引退して違う道という事で、色々な繋がりや、人脈があり私としては有難いなとっております。PL学園の同級生が日本テレビのアナウンサーだったり、3年前は楽天の監督をやっていた平石という選手は今西武ライオンズの一軍の打撃コーチに、大学の指導者、実業団の監督、ヘッドコーチと、野球の繋がりでつながっています。



現在、大学の野球部は95名選手がおりますがそのなかで一般就職する子もいれば野球で勝負かけたという子もいるので日々練習に取り組んでいるところです。

近年は大学生でもまだまだ幼く、高校生に毛が生えたぐらいの感じで大学にくるのですけれどもオホーツク野球部にくる子はほとんど道外から、九州、沖縄からも8名ぐらいますが、網走までくるということは非常に勇気のいる事だと思います。親元を離れ頑張ってくるということで、腹をくくってきているのだと感じています。野球部を辞める子は幸い少なく、入部する前には親御さんには「網走刑務所に4年間はあるつもりで来てくれ」と私の方から言っています。4年間預かったということはしっかり必ずサポートし面倒をみるという事を念頭においてやっているのが現状です。

部員には何が大切なのか、なにもプロ野球選手になることが全てではなく、この4年間で何を学ぶのかということに重きを置いて日々やっています。



次の写真をご覧ください。この子は去年亡くなりました。一昨年の大学3年時の夏頃、膝が腫れていると連絡を受けトレーナーにすぐ診てもらったところ、すぐ病院にいきましたが札幌の大きな病院へ行ってほしいと言われ、骨肉腫ということでその場で入院となり、その年の11月には片足を切断したのですが、若いのもあって肺の方に転移が診られ昨年の9月に亡くなりました。非常に前向きな奴で足を切断しても「パラリンピック目指すので大丈夫です」と私には辛いところを見せないで、この子は社会人でも、プロとしても活躍できる有望な子でしたし辛いところを見せず、私も初めての事だったのでどう接してよいかわからなかったのですが、この子から「大丈夫です」と言葉を貰いまして、私も勇気付けられました。亡くなってしまいましたがお父さん、お母さんの意向もあり、このような場があった際にはこの子が生きた証を伝えていきたいと思います。

指導者をしていまして色々な家庭環境や境遇の子がいます。その中で野球というツールを使って一生懸命大人になろうとする今の大学生を私はサポートすることしかできませんが、プロ、社会人野球へと進みたいという子もいまして今社会人野球というのも非常に狭まっていますなかなか野球でご飯を食べることが難しい時代になっています。

昨日、日本ハムの井口選手がノーアウト満塁で抑えたというのがニュースになっていましたが玉井、井口と当大学出身で私がコーチの時一緒に練習していた子でソフトバンクには周東という足の速い選手がいたり、中村亮太という選手が支配下登録されたりと活躍し、まだまだ東京農大北海道オホーツク出身のもっともっと活躍できるような選手を出していきたいと思います。ちょうど今日のスポーツ紙各紙に取り上げられているのですが、4年生の選手で伊藤菜央という投手が昨日プロ志望届を出しまして、プロにかかるかどうかは五分五分ではありますが、プロを目指して頑張っている選手もおります。また実業団へ行って頑張る子もいます。色々な形で東京農業大学野球部頑張ってまいりますので応援していただけたらありがたいです。本日はありがとうございました。

昨日、日本ハムの井口選手がノーアウト満塁で抑えたというのがニュースになっていましたが玉井、井口と当大学出身で私がコーチの時一緒に練習していた子でソフトバンクには周東という足の速い選手がいたり、中村亮太という選手が支配下登録されたりと活躍し、まだまだ東京農大北海道オホーツク出身のもっともっと活躍できるような選手を出していきたいと思います。ちょうど今日のスポーツ紙各紙に取り上げられているのですが、4年生の選手で伊藤菜央という投手が昨日プロ志望届を出しまして、プロにかかるかどうかは五分五分ではありますが、プロを目指して頑張っている選手もおります。また実業団へ行って頑張る子もいます。色々な形で東京農業大学野球部頑張ってまいりますので応援していただけたらありがたいです。本日はありがとうございました。

■ 例会予告	9月22日	ライラセミナーをふりかえり	青少年奉仕委員会
	9月29日	情報集会報告	R情報委員会

出席報告		大場出席副委員長						
	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	9月8日	61	12	43	8	2		78.9%